

雜 錄

規格統一調査會 14 回總會 工業品規格統一調査會第 14 回總會は 4 日午後 2 時から丸の内工業俱樂部に於て開催、會長町田商相、副會長吉野商工次官以下各委員並に關係官 90 餘名出席、同事業は生産の合理化を目標とし且つ工業の地方分散乃至農村工業並に戦時産業動員編成上重大なる關係を持つものとして重要視されてゐるが、別項要旨の如き町田商相の挨拶後逐條審議に入り何れも原案通り可決した、會長挨拶概要及議題概要次の如し。

商相挨拶概要 最近我が工業界は貿易の隆盛と非常時局との影響で相當活況を呈しゐるが尙研究改善を要する點も多々あるに加へ諸外國とも邦品阻止に愈々努めんとしてゐる状態なので、この際充分の決心と永遠の國策樹立を要する、その施設として工業品の規格統一は最も基礎的なものとして考へるが、幸ひ今日まで決定せるもの 329 件、更に本日總會に附議せるもの 52 件に達し、その結果海外取引にも見本標準規格が用ひられ、尙指定するものすら現れる様になり日本品の聲價を昂めた事も少くない事は慶賀に堪へない曩の東洋工業會議に於いても標準規格の制定は議題に上つてゐるが東洋諸國が統一されるならば産業通商上非常に便利な譯で従つてこの事業の使命は又益々重きをなす事となるので今後之が普及促進に一層努力する事は素より何等か適當なる措置を採り度いと考へてゐる。

鐵及鋼材料(第 1 部) 1. 新規規格案の決定及追加案△亞鉛鐵板△標準抗壓試驗△金屬材料の機械的試験に關する術語の意義△水道用電氣鍍接鋼管△水道用繼目無鋼管△鐵及鋼の記號改正△マンガン鑛石分析方法△アチモン地金△アンチモン地金分析方法△炭坑品の改正△銅板の寸法△黃銅板の寸法△アルミニウム板の寸法△銅板の改正△黃銅板の改正△アルミニウム板の改正。2. 新に規格調査に着手するもの。

非鐵材料(第 2 部) 1. 新規規格案の決定及び追加分△石油試驗器△石鹼分析の試験方法△印刷用紙 08 番△筆記用紙 11 番。2. 新に規格調査に着手するもの。

電氣問題(第 3 部) 1. 新規規格案の決定及び追加分△電氣用銅材の導電率△市内電氣ケーブル△電氣用銅線改正△圓形硬銅線改正△溝付硬銅電車線改正△架空送電線用硬銅撚線改正△専用銅線改正△母線用硬銅導體改正。2. 新に規格調査に着手するもの△中型高壓變壓器△銅管端子△小型電球の電壓、電流、消費電力、燭光の特性△電氣用銅材の導電率△引止用碍子△鍍電線用碍子△シールド・ホルダー、グローブホルダー・ランプソケット△メツセンジャワイヤー等の亞鉛鍍線又は鋼索△電氣用丸銅線△石綿用クリート△腕木、木製線槌、電柱笠金、足場釘、キャッチホルダー、ゴム手袋。

機械器具(第 4 部) 1. 新規規格案の決定及び追加案△止めメートルねぢ△メートル細目ねぢ△ウイツトウオースねぢ△工具のシヤク四角部△丸栓△皿栓、丸皿栓及び特殊丸皿栓△木製手摺△木製手摺用金具△抑栓△船側口扉△自動車用當金△自動車用スプライン接手△自動車用半月キー△自動車用ユニオン管接手△自動車用二又接手。2. 新に規格調査に着手するもの△スパン△各種頭のボルト△ねぢ付テーパーピン△ねぢ末端部の形狀寸法△管及瓣コック等の連結略圖法△壓力の種類△高壓蒸氣弁△耐熱弁△流體の種類に依る輸送管の着色△各種フランジ△フランジと管との接手△フランジ端部の形狀寸法△機械軸△鋼球△V ベルト△軸接手カツプリング△カラー

等軸承△ハンガー△ブラケット△オイルリング△廻轉數△軸端の形狀寸法、スプライン△機械軸の高△カッター類△研磨砥△鋸△帶鋸△丸鋸△ダイスホルダー△モールステーパー用拔範△各種検査拔範△穿孔用プッシュ△バイトの形狀寸法△バイト鋼の寸法△木工用錐△鋸△鐵工用器具類△水量計△熱量計工作機械部分品△煖房用品△スピンドル△時耗換算表△壓力諸單位對照表△機械用鋼索

濠洲亞鉛引鐵板需給狀況(外務省通商局日報 257) 亞鉛鐵板は濠洲の重要産業にして政府は極力同工業の保護助長に努め、既に顯著なる發達を爲し居るものなるに付、本邦品進出の見込乏し。世界大戰中亞鉛鐵板缺乏の爲困難を嘗めたるが、其結果政府は同品製造業を國內に起すことを計畫し、補助金の支給と保護關稅とに依り其發達を計ることとせり。其結果 1921 年 Lysaghts Newcastletle Works Limited 組織せられ(同社は英國の John Lysaght Limited Bristol の分身と見るべきものなり)、亞鉛鐵板の製造を開始したるが、濠洲が鐵、石炭及亞鉛に恵まれ居ること、同社製造所は有名な鐵工場 Brohen Hill Proprietary Company に隣接して建設せられ、原料の供給を仰ぐ點に於て幾多の便宜を有し居ること、濠洲國內の需要相當大にして品物の種類比較的少きこと等種々好條件を具備したる上政府の極めて厚き保護ありたるを以て、其業務は擴張に次ぐに擴張を以てし現在では濠洲國內の需要を満したる上更に海外へも輸出し得るの餘力を有する程なりと云ふ。

1930 年 10 月 3 日以来補助金の支給廢止せられたるも現在も下の如き高率の保護關稅あり。即ち英特惠 1 噸に付 90 志、一般 1 噸に付 130 志、尙此の外プライメーヅ稅從價 10 %。

濠洲の田舎の建物の家根其他に廣く亞鉛鐵板需要せられ、國內の經濟狀況の如何に依り其需要額に相當大なる變動ある模様なるが、1931 年及 1932 年の關稅調査會報告書に依れば、國內需要額は 1930 年 6 月 30 日に終る 3 年間の平均年額 112,624 噸(最近更に 2 萬噸程度の増加ありと見て大過なかるべし)なりしが當時に於ける濠洲國內生産額は平均 1 年 25,208 噸なりき、然るに Lysaghts Newcastletle Limited は 1930 年 5 月迄に其生産設備を 8 萬噸に増加し更に其後増産計畫を建て今日では大體國內需要は同社製品にて之を満たし更に幾分の輸出餘力を有する程なりと云ふ。

亞鉛鐵板輸出入額其次の如く其の額小なり、輸入品は大部分英本國より來り輸出品は大部分太平洋諸島に向けらる、1930 年以前亞鉛鐵板の輸入は毎年巨額に達するを常としたるが、今日に於ては最早海外の供給を必要とせざる程度の國內生産を見るに至れるを以て、其輸入額も激減したる次第なり。

鐵及鋼輸出入額 (1932~34 年)

▲輸 入	1932~33 年		1933~34 年	
	數量(所)	價額(磅)	數量(所)	價額(磅)
▲亞鉛引鐵板				
英 本 國	5,243	4,064	1,894	1,574
其 他 諸 國	39	82	59	67
計	5,282	4,146	1,953	1,641
▲亞鉛引拉生子鐵板				
英 本 國	11,384	9,043	10,035	8,523
計	11,384	9,043	10,035	8,523

▲輸出

	1932~33年		1933~34年	
	數量(所)	價額(磅)	數量(所)	價額(磅)
▲亞鉛引鐵板				
○英本國	70	105	60	90
○太平洋諸島				
フィジー	942	1,070	81	46
ナウル	613	703	280	347
パプア	959	1,156	641	835
ソロモン島	1,230	1,480	752	929
ニュー・ギネア地方	3,504	3,526	3,130	3,866
其他諸島	550	607	746	860
○其他英領	29	34	—	—
○太平洋諸島				
ニュー・カレドニア	1,613	1,428	126	145
ニュー・ヘブリデス	656	707	1,103	1,215
サモア(米領)	425	540	452	479
其他諸島	32	46	250	310
計	10,623	11,402	7,621	9,122

(以上在シドニー、村井總領事報告)

米國亞鉛鍍鐵板及薄鋼板の生産並需給狀況 (外務省通商局日報 271) 生産高 American Iron and Steel Institute の調査に據れば米國の 1930 年以降 1934 年に至る各年の亞鉛鍍鐵板及薄鋼板製造高次の如し。(單位英噸)

年度	平 板		合 計
	波 型 板	波 型 板	
1930	1,037,461	65,221	1,102,682
1931	762,060	50,205	812,265
1932	313,790	38,810	552,600
1933	702,707	44,092	746,798
1934	771,927	40,489	812,416

年度	12 番ゲイヂ及夫より厚きもの		合 計
	13 番ゲイヂ及夫より薄きもの	13 番ゲイヂ及夫より薄きもの	
1930	392,766	3,118,791	3,511,557
1931	397,150	2,064,344	2,461,494
1932	131,877	1,339,655	1,471,532

年度	16 番ゲイヂ及夫より厚きもの		合 計
	17 番ゲイヂ及夫より薄きもの	17 番ゲイヂ及夫より薄きもの	
1933	727,442	2,364,968	3,092,410

年度	鋼 板		合 計
	鐵 板	鐵 板	
1934	3,192,785	9,820	3,202,605

前示の如く過去5年間の米國亞鉛鍍鐵板及薄鋼板の生産高は 1932 年に於て最減少を來したるが爾來回復の跡顯著なるものありて、1934 年中の生産高は亞鉛鍍鐵板 81 萬噸、薄鋼板 320 萬噸となれり。

價格 1932 年乃至 1934 年の 3 箇年間の月別及年別ピッツバーグ地方工場渡 24 番ゲイヂ亞鉛鍍鐵板 100 封度當平均相場次の如し。(單位弗、日刊 American Metal Market 調)

月 別	1932 年	1933 年	1934 年
1 月	2.79	2.71	2.85
2 月	2.75	2.50	2.85
3 月	2.85	2.60	2.85
4 月	2.85	2.62	3.06
5 月	2.85	2.70	3.25
6 月	2.85	2.71	3.25
7 月	2.85	2.85	3.14
8 月	2.82	2.85	3.10
9 月	2.83	2.85	3.10
10 月	2.85	2.85	3.10
11 月	2.85	2.85	3.10
12 月	2.85	2.85	3.10
平 均	2.83	2.75	3.06

同じく最近 3 箇年のピッツバーグ地方工場渡 24 番ゲイヂ薄鋼板月別及年別平均相場次の如し。(單位及出所同前)

月 別	1932 年	1933 年	1934 年
1 月	2.20	2.02	2.25
2 月	2.15	1.95	2.25
3 月	2.20	2.20	2.25
4 月	2.20	2.20	2.46
5 月	2.20	2.09	2.65
6 月	2.20	2.11	2.65
7 月	2.20	2.25	2.46
8 月	2.17	2.25	2.40
9 月	2.10	2.25	2.40
10 月	2.10	2.25	2.40
11 月	2.10	2.25	2.40
12 月	2.10	2.25	2.40
平 均	2.16	2.14	2.41

因に 1930 年及 31 年の前記標準による年平均相場は亞鉛鍍鐵板 3 弗 15 仙及 2 弗 87 仙、薄鋼板 2 弗 53 仙及 2 弗 34 仙なり、由之觀之米國の亞鉛鍍鐵板及薄鋼板の相場は何れも 1933 年迄低落を續けたるが昨年中顯著なる回復を示し、本年 9 月の亞鉛鍍鐵板及薄鋼板相場は 3 弗 10 仙及 2 弗 40 仙となれり。

輸出入高 米國商務省發行米國外國貿易統計に依るに 1930 年以降 5 箇年の亞鉛鍍鐵板及薄鋼板米國輸出(移出を含む)數量及金額次の如し。

年度	鋼製亞鉛鍍鐵板		鐵製亞鉛鍍鐵板	
	數量(封度)	金額(弗)	數量(封度)	金額(弗)
1930	195,368,963	7,986,299	14,038,390	531,242
1931	105,860,971	3,763,199	9,551,092	811,845
1932	57,146,135	1,813,932	3,164,211	168,070
1933	118,031,586	3,556,242	2,605,686	125,541
1934	150,336,572	4,477,920	3,194,171	153,293

年度	鋼製薄鋼板		鐵製薄鋼板	
	數量(封度)	金額(弗)	數量(封度)	金額(弗)
1930	308,938,066	10,342,884	25,718,843	1,097,357
1931	205,599,784	6,917,787	12,372,239	446,589
1932	85,741,894	2,844,285	5,513,296	175,995
1933	83,055,187	2,464,826	6,162,180	195,940
1934	203,846,174	6,025,326	9,687,384	316,604

以上 2 表により明なる如く亞鉛鍍鐵板輸出高は 1932 年中薄鋼板輸出高は 1933 年中底を突き爾後輸出増加の傾向を示せり、1934 年の輸出高亞鉛鍍鐵板 1 億 5,600 萬封度 463 萬弗、薄鋼板 2 億 1,000 萬封度 634 萬弗に達したるが、之を 1920 年臺の亞鉛鍍鐵板輸出高約 3 億封度 1,500 萬弗、薄鋼板輸出高 4 億乃至 5 億封度金額同じく 1,500 萬弗前後なりし時代に比較すれば大なる逕庭あり。米國產亞鉛鍍鐵板及薄鋼板は世界各地へ普遍的に輸出せられ、1934 年度の國別輸出統計に付て見るに 1,000 弗以上の輸出先亞鉛鍍鐵板に付 51 箇國、薄鋼板に付 45 箇國に及べり、此内主要なる市場は南北米兩大陸諸國なり、1934 年中米國產亞鉛鍍鐵板の 10 萬弗以上に達せる輸出仕向國は(輸出高順)比律賓、伯刺西爾、哥倫比、墨西哥、南阿聯邦、玖馬、蘭領東印度、モザンビック、支那及巴奈馬の 10 箇國なるが、比律賓向移出高は 3,500 萬封度、118 萬弗に及べり、又同年中米國產薄鋼板 10 萬弗以上に上る輸出仕向國は(輸出高順)加奈陀、墨西哥、伯刺西爾、支那、伊太利、比律賓及亞爾然丁の 7 箇國にして此中加奈陀向輸出高 6,300 萬封度 200 萬弗、墨西哥向輸出高 3,700 萬封度 85 萬弗なり。亞鉛鍍鐵板及薄鋼板の輸入に關しては前

記米外國貿易統計中其項目なく其他の鐵板類と共に一括して報告せらるゝ處價格の變動如何によりては運賃の關係上多少宛白耳義、獨逸、佛蘭西等より大西洋沿岸諸都市用として輸入せらるゝも其額年 10 數萬弗に過ぎず。

取引事情 前述の如く亞鉛鐵板及薄鋼板共に 1932 年以來生産高増加を續けつゝあるが今年は在荷薄、一般景氣の回復、殊に自動車工業界の急速なる復興歩調（昨年製造數 289 萬 5,629 臺に對し今年の製造數 375 萬臺又明年の製造數 400 萬臺以上に上るべしと推測する）等相俟て通常閑散期たる夏期に入りても尙其生産著しき活況を呈しつゝあり、本年 4 月の生産統計を見るに鐵鋼業全般の工場作業率は 4 割 8 分 5 厘なるに鐵板工場では作業率 7 割 5 分を示せり。鐵板類の米國內市價はアンチ・トラスト法に抵觸せざる様製造家間に一種の紳士協定を以て年 1 回、2 回又は 4 回位に決定するものなる由にして、其動搖比較的少く本年中は現在相場を維持すべきも來年 1 月よりは市價幾分の上昇を見るべしと豫想せらる。

（以上在米、井上大使館商務書記官報告）

墨國の鐵屑輸出入税率改正（大統領令）（外務省通商局日報 272）墨國政府は最近自國の各工業都市に於て漸く勃興の端緒に著ける製鐵工業を保護し其發達を助長せしめんが爲、1935 年 8 月 29 日附大統領令を以て一方鐵屑、古鐵の輸入税を低減し同品の輸入を容易ならしむると共に、他方現在國內各地に散在する鐵屑類の海外流出を防止する目的を以て從來無税なりし同品の輸出に對し一舉總重量 1 噸に付墨貨 4 仙の輸出税を賦課することゝなりたる處、此は輒近輸入激増の趨勢に在り當方面にも屢々商談ありたる本邦輸入業者に相當影響を及ぼすことあるべし。此條文の要譯左の通り。

○鐵屑輸入税改正に關する大統領令(1935 年 8 月 29 日裁可同年 8 月 31 日附墨都官報に公布)

第 1 條 一般輸入税率表中左に掲ぐる税番並關係類別用語は之を變更若は追加し次の通り改正す

▲税 表

- 3 鐵 物
- 32 原形の石塊、自然の狀態に在り若は發掘せられたる土壤、鐵物若は金屬
- 325 通常金屬
- 3253 鐵及鋼鐵
- 3-25-33 鐵屑若は鐵鐵屑、各種の重量及形狀を混有する斷片にして分類せられざるもの 總重量 100 斤に付〇「ペソ」10 仙
- 3-25-34 破捏若は折損に依り不用に歸したる鐵道車輛若は機關車の鐵及鋼鐵製車軸及車輪 總重量 100 斤に付 〇「ペソ」30 仙 （以上在マサトラン大谷領事報告）

歐米鐵鋼界便り (Iron & Coal Trades Rev. Oct. 18 1935)

1. 佛蘭西 銑鐵…鑄物銑シンデケートは 10 月 31 日に更新されるものと一般に信ぜられてゐる。現在の商議に於ては各生産業者は割當の増加を要求してゐるが此の割當問題は此の種銑鐵の國內消費高が非常に減じた爲め一層困難視せられてゐる。生産業者に取つては一手販賣代理店の設置が最も得策と見られて居る。一方更新されたヘマタイト銑シンデケートは現在の協定では 1933 年 1 月迄の有効期間を有するも然し若し鑄物銑シンデケートが瓦解する場合には恐らくこれも亦解消の運命に在るものと見られて居る。現在の銑鐵市場は堅調を持し價格は不變である。

鋼材 鋼材の取引は比較的閑散で、買手は 10 月 31 日に期間満

了となる “Comptoir Siderurgique” の更新協議中に鑑み注文を手控へて居るが若し本組合にして更新協定不調に終る場合は恐らく價格の崩落は免かれぬであらう。需要の可なり多いのは半製品のみであつて工場側に於ては、引渡し及品質等に関し需要者の要求に極力應ずることに努めて居る。薄板の需要も亦可なりであるが然し中には受注皆無の工場もある。薄板シンデケートに關する商議は各生産業者の利害が頗る離反するものあるが爲め遅々として進まない。成立する、しないは製鋼組合協商の展開如何に依存する。現在の暫定取極めは年末まで持續するものであらう。厚板及中板の價格は強含みでシンデケートの統制下に在る。

2. 白耳義 前週に比し取引高は幾らか増加した、これはカルテルが價格を引上げる恐れあるからである。

銑鐵 鑄物銑の需要は依然として緩慢で價格は國境渡 370 fcs である。一方ヘマタイト銑は可なりの需要があつて價格は 450~475 fcs 半合銑の價格は爐渡し 375 fcs で此の種銑に對しては外國からの競争は比較的少ない。製鋼用銑の價格は引渡し 330 fcs である。

半製品 半製品の市場は日本からの需要が若干恢復した外依然として閑散である。英國々内市場に對する引渡値段は次の通り (paper pounds)

Billets, 2 to 2½", £5. 6s to £5. 9s; 2½ to 4", £5 5s to £5 8s; sheet bars, £5 to £5 3s

其他の市場に對する F. o. b 價格 (gold) は次の通り

Ingoto £2; bloom, £2 5s to £2 6s; billets £2 7s to £2 13s; sheet bars, £2 8s to £2 12s

鋼材 10 月 11 日ブラッセル會議に於て鋼カルテル管理委員會が一切の市場に對する價格引上の提案を議事目録中から撤回したのは蓋し國際政局の然らしむる所であつた。特殊の棒鋼及形鋼に對し亞米利加的顧客へは從來 2s 6d のエキストラ付で賣つて居つたが此のエキストラを廢したが爲め受注噸數は増加するに至つた。英國々内市場に對する價格は次の通りである (paper pounds)

Bars, £5 1s to £5 2s 6d (バーミンガム地方) £5 2s 6d to £5 6s 6d (其の他の地方) Plate, ¾", £6 1s 6d; ⅝" £6 5s 9d. Angle, Channel, Joists £5 2s 6d.

其他の市場に對する價格次の通り

Bars, £3 to £3 13s 6d (gold) £5 to £6 3s (paper) Notched bars. and rounds for bolts, £3 5s to £3 7s 6d. Jube strip, £3 15s to £3 17s 6d (gold) Concrete bars, £3 2s 6d to £3 5s (gold). plates ¾", £4 12s 6d (gold) £7 15s (paper) Hot-rolled hoops, £4 (gold)

3. 獨逸 10 月 11 日の大陸鋼カルテルのブラッセル會議に於ては恐らく未決問題は解決されないであらうと漢堡の商人側では見て居つたが果してそうであつた。而して薄鋼板の問題を満足に解決するにはまだまだ數回の會合を必要とするであらう。

東亞弗利加的戰爭は各市場、就中近東及遠東からの需要減を招來しつゝありとは云へ先月中頃から輸出貿易は幾らか好轉を示して來た。對日貿易は薄板に對する若干の注文を除き全然杜絶の狀態に立ち至つた。半製品の場合に於ても、日本の最高オツプアアガ、カルテルの價格より 1 割乃至 1 割 2 分安い爲め、これ亦同様行惱みの狀態に在る。漢堡着の報道に依れば滿洲國の新製鋼所に於ては目下棒鋼を生産し其の價格はカルテルの價格よりも 1 割 5 分安いと云ふことである。然しカルテルに於ては支那市場に對して大量の棒鋼を特價で賣込んで居る。最近のニュースに依れば日本は更に値引を行

つたと云ふことであるから歐洲側に於ては支那市場に對しては深甚の考慮を拂ふの必要がある。

英領印度は大陸に對して大量の棒鋼及形鋼の注文を發した。スカンデナビヤとの取引は平常通りであるが南米特にアルゼンチンとの取引は好調である。一方南阿との取引も亦復活の氣勢を示して來た。線材は支那からの注文に接し居るも、カルテル内に於ける獨逸の割當が不十分なる爲め需要を充分に満し得ない状態に在る。ワイヤー及ワイヤー製品は需要頗る増大し日本の競争あるにも拘らず支那印度、マニラ及中央アメリカからの注文を見るに至つたがこれは實際ワイヤー輸出組合の巧妙なる商取引の結果に外ならぬ。

4. 合衆國 ビツバーク 本週の製鋼作業率は約 52 % で前週と

同じである。建築鋼材に對する需要は依然として少い、鐵道からの注文も亦豫期に反して少ない。亞米利加鐵鋼協會の發表に依れば全國鐵鋼業 158 社の本年上半期に於ける純益は一切の經費を差引き合計 30,923,927 弗に達し前年同期の純益 25,305,232 弗に比し 22 % の増加を示した。前記 158 社は全國鋼塊及鋼材生産能力合計の約 96 % 及銑鐵生産能力の 93 % 以上を生産するものである。

本年上半期の純益は此 158 社が半年間に販賣用として生産した一切の鐵鋼材 14,000,000 英噸に對し 1 噸當り約 2 弗 20 の純益に相當する。前年同期の純益は同じく販賣用鐵鋼材 15,060,000 英噸の生産に對し 1 噸當り約 1 弗 70 の純益に相當した。(S. S.)

英、佛、獨(1935年上半期)品種別鋼材生産高

(資料シユタール・ウント・アイゼン誌に依り集計)

1. 英國 (單位 1,000 噸)		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	計
鍛鋼	品	17.2	20.8	24.6	22.2	27.1	22.0	133.9
厚板	板(ボイラー用)	5.8	7.6	7.5	7.5	8.4	7.9	44.7
厚薄板	板 1/2" 以上	75.6	78.6	90.1	81.9	84.3	77.4	487.9
薄板	板 1/2" 未滿	53.4	47.8	54.6	49.0	52.1	49.7	306.6
鐵力板	板類	58.5	54.6	62.4	56.2	61.7	54.8	348.2
亞鉛	鍍板	33.2	29.6	39.9	29.4	32.9	29.6	194.6
軌條	40ポンド以上	26.5	31.7	38.2	32.8	37.6	32.6	199.4
電軌	40ポンド未滿	2.5	3.7	3.7	3.0	3.3	2.8	19.0
枕木	木・繼目板	3.0	2.3	3.2	1.1	1.6	1.4	12.6
枕木	木・繼目板	3.3	2.7	1.9	1.9	2.6	5.1	17.5
形線	丸・平材	187.9	175.6	202.9	187.0	195.2	185.2	1,133.8
線帶	鋼	33.2	32.0	36.3	31.8	37.9	34.0	205.2
冷間	延鋼	39.5	39.3	40.8	37.2	42.5	33.2	232.5
發條	ストリップ鋼	7.3	6.9	7.2	6.9	7.7	6.7	42.7
計		552.4	540.3	620.8	556.3	604.0	550.7	3,424.5
2. 佛蘭西 (單位 噸)								
鍛鋼	品	3,000	4,000	3,000	4,000	4,000	4,000	22,000
厚板	鋼	4,000	5,000	5,000	6,000	5,000	5,000	30,000
厚薄板	鋼	34,000	26,000	36,000	39,000	38,000	22,000	195,000
鐵力板	鋼	3,000	5,000	6,000	8,000	12,000	9,000	43,000
鐵力板	鋼	4,000	4,000	2,000	3,000	3,000	1,000	17,000
形線	鋼材	32,000	33,000	33,000	40,000	36,000	39,000	213,000
線帶	鋼材	19,000	19,000	23,000	25,000	26,000	23,000	135,000
帶鋼	鋼	11,000	11,000	11,000	11,000	12,000	12,000	68,000
鋼管	鋼管	17,000	16,000	18,000	18,000	19,000	18,000	106,000
鋼管	鋼管	1,000	4,000	3,000	3,000	6,000	8,000	25,000
鋼管	鋼管	16,000	12,000	12,000	15,000	15,000	15,000	85,000
鋼管	鋼管	7,000	8,000	8,000	9,000	12,000	11,000	55,000
鋼管	鋼管	107,000	93,000	97,000	99,000	118,000	98,000	612,000
鋼管	鋼管	8,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	53,000
鋼管	鋼管	51,000	50,000	53,000	52,000	54,000	52,000	312,000
鋼管	鋼管	16,000	19,000	23,000	21,000	21,000	19,000	119,000
鋼管	鋼管	4,000	4,000	4,000	3,000	3,000	3,000	21,000
鋼管	鋼管	337,000	322,000	346,000	365,000	393,000	348,000	2,111,000
鋼管	鋼管	81,000	82,000	85,000	81,000	74,000	76,000	479,000
3. 獨逸 (單位 噸) 2 月以降ザールの分を含む								
軌條	鋼材	68,789	79,492	91,886	87,263	80,342	67,290	475,062
軌條	鋼材	80,109	68,535	108,254	97,715	106,667	98,404	559,684
棒鋼	鋼材	229,609	209,465	251,468	247,392	235,095	267,095	1,510,124
棒鋼	鋼材	43,536	44,762	55,655	53,221	54,762	52,257	304,193
線材	鋼材	65,755	64,042	90,788	85,591	87,445	74,885	468,506
厚板	板 (4.76 mm 以上)	72,331	65,431	81,631	76,775	85,552	74,822	456,542
厚板	板 (3 ~ 4.76 mm)	17,910	17,122	19,540	18,913	21,473	17,695	112,653
厚板	板 (3 mm 未滿)	78,277	74,038	85,111	75,872	85,459	83,187	481,944
薄板	板 (3 mm 未滿)	18,825	16,296	14,264	17,858	21,501	19,251	107,995
鐵力板	板類	47,716	44,290	47,932	51,215	60,362	60,620	312,135
車輪	鋼材	8,400	8,300	9,063	7,449	9,616	8,599	51,427
車輪	鋼材	25,303	25,240	29,362	27,354	29,142	28,271	164,672
其他	鋼材	8,579	10,102	12,934	12,250	12,087	8,952	64,904
計		765,139	727,115	897,888	858,868	939,503	881,328	5,069,841
販賣	鋼材	51,326	50,822	67,618	75,690	63,825	75,486	384,767

(S. S. 生)

內外最近刊行誌參考記事目次

- The Metal Industry (London) May, 17, 1935.**
 Atomic arrangement in metals. p. 527.
 Repairing zinc base die castings by oxy-acetylene welding. C. W. Mace. p. 528-529.
 Non-ferrous casting alloys. p. 530-534.
 Metallurgical research. H. Moore. p. 535-538.
 The evolution of the plating bath. H. J. T. Ellingham. p. 539-540.
 The electrodeposition of chromium. E. A. Ollard. p. 541-543.
- The Metal Industry (London) May 24, 1935.**
 Die casting and trade recovery. E. Stevan. p. 553-554.
 Evolution in seamless tube manufacture. G. Evans. p. 555-556.
 Trends in engineering materials. L. B. Hunt. p. 557-559.
 The production of rolled nickel alloys. p. 560-561.
 British industries fair. p. 562-584.
- The Metal Industry (London) May 31, 1935.**
 Aluminum for decorative metalwork. G. O. Taylor. p. 593-596.
 Non-ferrous casting alloys. p. 597-600.
 The European and world zinc situation. O. W. Roskill. p. 601-602.
 Type metal alloys. F. D. Weaver. p. 603-605.
- The Metal Industry (London) June 7, 1935.**
 The inspection of die castings. R. W. P. Leonhardt. p. 617-619.
 An improved monel metal. p. 619.
 Porosity in leaded bronze bushings. A. W. Lorenz. p. 621-623.
 Type metal alloys. F. D. Weaver. p. 625-628.
 The specification of electrodeposits. p. 629-632.
- The Metal Industry (London) June 14, 1935.**
 Scientific management in industry. F. Meyenberg. p. 643-646.
 Indicating pyrometers. M. D. Pugh. p. 647-649.
 Standardisation of aluminium alloys. p. 649.
 Cadmium-base bearing metals. A. G. Gill. p. 650-652.
 Developments in presses and press tools. N. G. Wilson. p. 653-655.
- The Metal Industry (London) June 21, 1935.**
 The remelting of scrap aluminium. H. Silman. p. 667-668.
 The crystal structure of metals. p. 669-670.
 Modern equipment for crucible melting. R. H. Stone. p. 671-673.
 Developments in presses and press tools. N. C. Wilson. p. 674-676.
 British non-ferrous metals research association. p. 677-681.
- The Metal Industry (London) June 28, 1935.**
 Bearing metals. R. T. Rolfe. p. 691-694.
 Scientific management in industry. F. Meyenberg. p. 695-699.
 The hardness of sprayed metal coatings. p. 700.
 The specification of electrodeposits. p. 701-705.
- The Metal Industry (London) July 5, 1935.**
 The vacuum distillation of metals. W. Kroll. p. 3-6.
 Institute of British foundrymen. p. 7.
 Sand problems in a brass foundry. F. Howitt. p. 8-12.
 University of Sheffield. p. 13-14.
 Production of basic refractories. p. 15.
- The Metal Industry (London) July 12, 1935.**
 The vacuum distillation of metals. W. Kroll. p. 29-32.
 Bearing materials. R. T. Rolfe. p. 33-36.
 Sand problems in a brass foundry. F. Howitt. p. 37-40.
 Barrel plating technique. E. J. Doffs. p. 41-42.
 The electrodeposition of copper tubes. p. 43-44.
- The Metal Industry (London) July 19, 1935.**
 The bessemer converter. H. R. Potts. p. 55-57.
 Bearing materials. R. T. Rolfe. p. 59-62.
 Some tests on tin bronzes at elevated temperatures. J. W. Bolton. p. 63-65.
 Aluminium-Magnesium alloys. p. 66-67.
- The Metal Industry (London) July 26, 1935.**
 The aluminium industry. R. Flint. p. 79-80.
 Precious metals as materials of construction. F. E. Carter. p. 81-84.
 Bearing materials. R. T. Rolfe. p. 85-88.
 The electrodeposition of chromium. E. A. Ollard. p. 89-91.
- Electrodeposition of cadmium. p. 92-93.
- The Metal Industry (London) Aug. 2, 1935.**
 The vacuum distillation of metals. W. Kroll. p. 103-105.
 Care and preservation of bronze statues. W. Lambert. p. 106.
 Secondary brass melting. p. 107-108.
 Bearing materials. R. T. Rolfe. p. 109-111.
 Smelting in lead blast furnace. G. L. Oldright. V. Miller. p. 112-114.
 Electrodeposition Exhibition. p. 115-116.
- The Metal Industry (London) Aug. 9, 1935.**
 Brass pressure die castings. p. 127-131.
 Deformation in wire drawing. p. 132.
 Non-ferrous metals in the Near East. A. Marcus. p. 133-134.
 Bearing materials. R. T. Rolfe. p. 135-138.
 Smelting in the lead blast-furnace. G. L. Oldright, V. Miller. p. 139-141.
- The Metal Industry (London) Aug. 16, 1935.**
 Recent advances in soldering and brazing. C. L. G. Ashby. p. 151-153.
 Refractories for smelting white metals. E. R. Thews. p. 154.
 The vacuum distillation of metals. W. Kroll. p. 155-156.
 The hardness testing of light metals and alloys. R. L. Templin. p. 157-161.
- The Metal Industry (London) Aug. 23, 1935.**
 New light alloy foundries. G. R. Webster. p. 175-176.
 Developments in power presses. p. 177-181.
 Smelting in the lead blast furnace. G. L. Oldright, V. Miller. p. 182-184.
 The electrodeposition of chromium. E. A. Ollard. p. 185-188.
- The Metal Industry (London) Aug. 30, 1935.**
 Duralumin and related alloys. H. Silman. p. 199-201.
 Relationship of specifications to the engineering profession. G. F. Hirschfeld. p. 202-203.
 Smelting in the lead blast furnace. G. L. Oldright, V. Miller. p. 204-208.
 Lead base bearing metals. p. 208-209.
- The Metal Industry (London) Sept. 6, 1935.**
 Non-ferrous metals in relation to prolonged stress. p. 223-227.
 The fostering of research in technical colleges as an aid to industry. G. Patchin. p. 228.
 Non-ferrous casting alloys of high strength. A. J. Murphy. p. 229-232.
 Pickling plant and equipment. p. 233-235.
 Practical results of electrodeposition researches. p. 237-239.
 Electrodeposition of copper-tin alloys. p. 240.
- The Metal Industry (London) Sept. 13, 1935.**
 The Institute of metals. p. 251.
 Metal melting—its effect on quality. H. W. Brownsdon. p. 252-262.
 Metal losses in melting brass and other copper alloys. M. Cook. p. 263-268.
 Observations of the porosity and segregation of two bronze ingots. N. P. Allen, S. M. Puddephat. p. 269-271.
 Production of powdered alloys of low melting point. R. W. Rees. p. 272.
 Other papers in abstract. p. 273-274.
 Non-ferrous metals in turbine construction. p. 275-276.
 General engineering products. p. 277.
- The Metal Industry (London) Sept. 20, 1935.**
 Shipping, engineering and machinery exhibition. p. 287-294.
 The properties of some special bronzes. D. Hanson, M. A. Wheeler. p. 295-299.
 Porosity and segregation of two bronze ingots. p. 299-300.
 Metal losses in melting brass. p. 301-303.
- The Metal Industry (London) Sept. 27, 1935.**
 Deoxidation and degasification of metals. H. Lépp. p. 315-318.
 Non-ferrous casting alloys of high strength. A. J. Murphy. p. 319-321.
 The Institute of metals. p. 322-326.
 Mechanism of chromium deposition. C. Kasper. p. 327-330.
- The Metal Industry (London) Oct. 4, 1935.**
 Aluminium alloy rods for locomotives. B. Reed. p. 339-340.

- Deoxidation and degosification of metals. H. Lepp. p. 341-345.
- Non-ferrous casting alloys of high strength. A. J. Murphy. p. 346-349.
- Power consumption in forging and pressing aluminium alloys. A. v. Zeerleder. R. Irmann. p. 350-353.
- The Metal Industry (London) Oct. 18, 1935.**
- Nickel-chromium heat resisting alloys. A. M. C. Murphy. p. 387-390.
- Aluminium-copper alloys. p. 391-394.
- Notes on copper refinery furnace firing and reproductories. H. C. Robson. p. 395-397.
- Non-ferrous metals at the motor show. p. 398.
- The value of technical, commercial and patent libraries. E. Evans. p. 399.
- Metal Industry (New York) July, 1935.**
- Electro-platers' Society Meeting in Bridgeport. pp. 232-242.
- Master platers hold second annual convention. pp. 243-244.
- Fostering cooperation through trade association activity. A. P. Munning. pp. 245-246.
- Testing materials society meeting. pp. 247-249.
- Specifications for quality of plated coatings. pp. 250.
- Approved specifications for quality of plated coatings. pp. 251-255.
- Metal Industry (New York) August, 1935.**
- Foundrymen's convention in Tronto. pp. 271-273.
- High purity ingot metal. W. E. McCulloch. pp. 274-275.
- Die casting alloy standards. pp. 276.
- Free cutting aluminium for screw machine work. L. W. Kempf, W. A. Dean. pp. 277-279.
- Making strong brass and making brass strong. M. G. Corson. pp. 280-282.
- Standard quality for plated tableware. F. C. Mesle. pp. 283-289.
- Oxidizing agents for nickel solutions. W. A. Wesley. pp. 290.
- Ford uses new rustproofing process. pp. 291.
- Metal Industry (New York) Sept. 1935.**
- Foundrymen's meeting in Tronto. pp. 309-313.
- Super-high-speed cutting tools for non-ferrous metals. pp. 314-315.
- Better returns from scrap. E. G. Wertheimer. pp. 316-318.
- United chromium wins patent suit. pp. 319-325.
- National metal week. pp. 325.
- Metal Industry (New York) Oct. 1935.**
- New Specifications. pp. 347.
- British Institute of Metals meeting. pp. 348-351.
- New copper house. pp. 352-353.
- Remington Rand improves parts, reduces costs with electric-furnace brazing. pp. 353.
- Palladium and palladium leaf. A. B. Thomas. pp. 354.
- Electrodeposition of tin. A. L. Shields. pp. 355-357.
- Quality plate pays. M. M. Wise. pp. 358-359.
- Permanent metal products exhibit opens in New York. pp. 360-361.
- The Foundry, Aug. 1935.**
- Tronto prepares welcome for American Foundrymen's Association. F. G. Steinbach. pp. 20-28.
- Tronto leads as Foundry center. pp. 29-32.
- Superheating cupola melted iron. G. P. Phillips. pp. 33-35.
- Hardens steel roll surfaces. P. Dwyer. pp. 36.
- Gray cast iron. J. W. Bolton. pp. 38-39.
- I. B. F. holds annual conference. V. Delport. pp. 40-41.
- Modern equipment features new Ford foundry in Canada. pp. 43-45.
- Major L. L. Anthes is awarded gold medal of A.F.A. pp. 46.
- A Glimpse at the foundry of 1950. F. J. Walls. pp. 47.
- Blast furnace and steel plant, Sept. 1935.**
- Graphical computation. F. M. Scharff. p. 611.
- The Brickmason and the open hearth furnace. Henry D. Tyson. Part IV. p. 616.
- Finishing the heat of steel. J. H. Hruska. Part XXXV. p. 619.
- Developments and Trends in Refractories. Louis J. Trostel. p. 621.
- Alloy steels for Boiler drums and superheaters. G. K. Herzog. Part II. p. 630.
- Steel mill and customer. J. R. Miller. Part II. p. 633.
- Deflection of Rolls. J. Selwyn Caswell. Part III. p. 635.
- Blast furnace and steel plant, Oct. 1935.**
- The fundamentals of Rolling. N. A. Sobolevsky. p. 685.
- Design and construction of hot blast stoves. Albert Mohr. p. 689.
- The development of specifications for Lubricants. O. L. Maag. p. 696.
- The Brick Mason and the open hearth. H. D. Tyson. Part V. p. 698.
- Finishing the heat of steel. J. H. Hruska. Part XXXVI. p. 701.
- Development and trends in Refractories. Louis J. Trostel. Part II. p. 703.
- Steel mill and customer. J. R. Miller. Part III. p. 711.
- Deflection of rolls. J. Selwyn Caswell. Part IV. p. 713.
- Iron age, Vol. 136, No. 16-18, 1935.**
- Identification of Lindbergh Ladder Nails. Stanley R. Keith. p. 16.
- Grain size and its influence on the manufacture of steel wire. B. L. McCarthy. p. 23.
- Aluminum in modern commercial steels. H. W. McQuaid. p. 29.
- Manufacture and Finish of Golf shafts. R. P. Brown. p. 34.
- Testing metallurgical Fuel oils. J. H. Hruska. No. 17. p. 20.
- Calorizing process is Improved. J. B. Nealey. No. 17. p. 28.
- Iron and steel Ind. Oct. 1935.**
- Use of coke oven and Town's gas in open hearth furnace. J. B. R. Brooke. p. 3.
- From liquid to solid. W. Machin. p. 6.
- Manufacture of locomotive Tubes. A. Locomotive Engineer. p. 8.
- Blast furnace slag, a valuable By-product. James Watson. p. 12.
- A new chequer Brick for Blast furnace stove. p. 23.
- Steel, vol. 97, No. 17-20.**
- Reduces defects in steel rails by normalizing. John Brunner. No. 17. p. 32.
- A new design automatic mechanical gas Producer. A. E. Gibson. No. 19. p. 43.
- Produces wide range of Iron casting in steel casting. W. F. Rose. No. 19. p. 46.
- Beauty and Permanence of finish combined by etching Process. A. H. Allen. No. 20. p. 32.
- Molded plastic mill bearings effect large power savings. H. F. Horne. No. 20. p. 36.
- (中野)
- Stahl und Eisen. Heft 42-44. 55 Jahrg. 1935.**
- Der Einfluss der Walzbedingungen beim Kaltwalzen von Bandstahl. Lueg Werner. s. 1105.
- Umwandlung des deutschen Eisenbahn-Gütertarifwesens? Ahrens, Wilhelm. s. 1113.
- Vorreinigung von Gichtgasen in Wirblern. Barth Walter. s. 1129.
- Aufbau und Betrieb neuzeitlicher La-Mout-Anlagen zur Dampferzeugung. Seidel, Hanns. s. 1134.
- Die Verwertung des Kopsfengases auf Hüttenwerken. s. 1153.
- Nenre Ergebnisse bei der Drucklufttöstung des Siegerländer Spateisensteins. Gleichmann Hubert. s. 1164.
- Die Giesserei. Heft 23-22. 1935.**
- Eisen in geschichtlicher Darstellung. Max Paschke. s. 553.
- Aus der amerikanischen Giesserei industrie. E. Piwo-warsky. s. 561.
- Neue Erkenntnisse in der Verwendung von Gusseisen als konstruktionswerkstoff. A. Thum. s. 529.
- Der internationale Giessereikongress in Brüssel. Th. Gleilenkirchen. s. 533.
- Aus der amerikanischen Giesserei industrie. E. Piwo-warsky. s. 536.
- Eingüsse, steiger und Ueber köpfe, ihre zweckmassige anwendung zur Erzielung guter Gusswaren. Fritz Paschke. s. 539.
- (鈴木)

金屬 第5卷 第11號 昭和10年11月1日
 製鋼用鐵合金 向山 幹夫 (541)
 滿洲に於ける鑛物資源に就て 藤井 寛 (548)
 ゲージ鋼並に工具鋼の熱處理 村上武次郎 (555)
 耐蝕性金屬材料と其の性質その三 山本 洋一 (565)
 X線金相學(講義) 大日方一司 (569)
電氣評論 第23卷 第11號 昭和10年11月1日
 アルミニウム線の國際仕様とアルミニウムの純度 高橋 本枝 (1127)
 金屬薄膜の電導機構 齋藤 幸男 (1130)
 金屬粒子分散系の電氣的製造方法 鳥養利三郎 山口 次郎 (1155)
外務省通商局日報 第257號 昭和10年11月13日
 亞鉛引鐵板需給狀況(滿洲) (1626)
鑛物 第7卷 第11號 昭和10年11月
 シルジン青銅材による掃除装置金物鑄造法 海軍艦政本部 (721)
 鑛鐵製輪子の材質改良に就て 鐵道省大宮工場 (726)
 銻銑爐用初込コークスの節約に就て(1) 相浦 泰 (744)
電氣製鋼 第11卷 第11號 昭和10年11月15日
 クロマイジング(クロムに依るセメンテーション) 加瀬 勉 (577)
 昇汞を用ひて鋼中のFeO及MnOを定量する研究につきて 野田 一六 (594)
 滿庵モリブデン鋼に就て 金友 濤聲 (608)
工政 第187號 昭和10年11月
 國産ロール製作の進歩發達 上村 義夫 (24)
 輕金屬工業の動向 大日方一司 (48)
製鐵研究 第145號 昭和10年10月
 第一中板工場燒準爐瓦斯壓縮用ルーツ式送風機の性能測定 結果に就て 末藤 作次 (49)
 文獻に現はれたる北九州に於ける鐵器其他に對する考察 村上 敏雄 (53)
 瓦斯計量器に就て(其の三) 藤 岩根 政近 隆二 (99)
 製鐵工業と石炭工業 伊能 泰治 (115)
 各種型鋼材の重量算定時に於ける斷面積算出法 長井峻一郎 (95)
 中國地方に於ける砂鐵製鍊 八木貞之助 (103)
地學雜誌 第47年 第561號
 我國に於ける硫黃鑛業 赤木 健 (523)
採鑛冶金月報 第13年 第11報 昭和10年11月15日
 選擇還元及銅鹽浸出による錫鑛製鍊 野滿 朝亮 (293)
 タングステンの新冶金法 渡邊 俊雄 野滿 朝亮 (308)
滿洲冶金學會會報 第6號 昭和10年9月
 結晶學的に見たる金屬の機械的性質 木谷 要一 (1)
 高速度鋼の組織に就て 長谷川熊彦 荻井 鐵夫 (7)
 主として金屬材料學の立場から見たアルミニウムの製鍊 大日方一司 (20)
金屬の研究 第12卷 第10號 昭和10年10月
 CaO·TiO₂·SiO₂-CaO·SiO₂-CaO·Al₂O₃·2SiO₂系の研究II
 Titanite-Wollastonite-Anorthite 三成分系平衡圖 西岡弼三郎 (449)

軟鋼の耐蝕性に及ぼす諸元素の影響 村上武次郎外2名 (459)
 金屬セメンテーション(第7報) マンガンに依るセメンテーション 加瀬 勉 (478)
 金屬研磨層の本性に就て 三輪 光雄 (484)
日立評論 第18卷 第11號 昭和10年11月25日
 鋼板銲接部の高溫度に於ける機械的性質 武田 勝吉 (29)
燃料協會誌 第158號 昭和10年11月20日
 液體燃料國策と燃料アルコールに就て 小島 新一 (1303)
海外經濟事情 第22年 昭和10年11月25日
 ケニヤ及ウガンダ貿易年報(1934年)(昭和10年9月22日附在モンバサ帝國領事館事務代理中村武夫報告) (59)
滿洲鑛業會々報 第1卷 第10號 康徳2年11月
 滿洲國鑛業法に就て 高木 佐吉 (9)
 滿洲國の地質と將來の鑛産 新帶國太郎 (20)
日滿經濟旬報 第20號 昭和10年11月25日
 鐵、鋼及びその副産物 (1)
 昭和製鋼と日鐵 (3)
マンダ研究時報 第10卷 第3號 昭和10年11月25日
 耐火物の物理的性質に及ぼす成型壓力の影響に就いて 伊藤 集悞 (17)
水曜會誌 第8卷 第9號 昭和10年10月30日
 鐵道工場に於ける鑄造作業研究 大西信三郎 (827)
 非鐵金屬製鍊に於ける金相學的理論の應用に就て 西村 秀雄 (851)
 國産アルミニウムの吟味(第1報) 原田 隆康 (881)
 發生瓦斯測定による金屬及び合金の腐蝕の研究 西村 秀雄 澤本 八衛 (911)
日本製鐵參考資料 第2卷 第6號 昭和10年11月30日
 獨逸クルップ會社の瑞典鐵山開發 Iron & Coal Trades Rev. Aug. 2, 1935 (607)
外務省通商局日報 第271號 昭和10年11月30日
 亞鉛銲鐵板及薄鋼板の生産並需給狀況(米國) (1710)
資源 第5卷 第12號 昭和10年12月
 獨逸に於けるカルテル政策 (1)
 金屬の回收に就て (28)
滿洲の發明 第1卷 第6號 昭和10年11月5日
 連次的遠心力鑄造法に就て 菅原 恒男 (12)
外務省通商局日報 第272號 昭和10年12月2日
 墨國の鐵屑輸出入稅率改正大統領令 (1716)
北海道石炭鑛業會々報 第255號 昭和10年11月25日
 採鑛技術に關するノモグラム 熊澤 良雄 (20)
日本化學會誌 第56帙 第11號 昭和10年11月28日
 銅を主成分とする銻・銅合金の鑄造試料の加熱中に起る異常現象に就て(合金の固態溶解能に關する研究第5報) 田中 嘉穗 飯尾 昌克 (1293)
 銅を主成分とするマグネシウム・銅合金の鑄造試料の加熱中に起る異常現象に就て(合金の固態溶解能に關する研究第6報) 小泉 瑛一 川口 武彦 (1300)
 青銅に於ける鑄造組織の標準化に及ぼす第三金屬の影響(合金の固態溶解能に關する研究第7報) 香取 三郎 荻野 寂 (1305)

主要製鐵所に於ける昭和10年9月分鐵鋼材生産高調 (單位噸)

種別	9月分			累計			増減%
	昭和10年	昭和9年	増減	昭和10年	昭和9年	増減	
鉄 鐵 普 通 鋼	169,178	155,467	13,711	1,564,600	1,416,055	148,545	10
	48,072	38,880	9,192	445,674	338,886	106,788	32
	355,329	286,372	68,959	3,347,713	2,704,393	643,320	24
販賣向鋼片	21,315	—	—	77,455	—	—	—
	6,130	6,330	△ 200	82,131	63,064	19,067	30
販賣向鋼板	1,749	—	—	18,844	—	—	—
	16,173	12,851	3,322	158,983	106,585	52,398	49
販賣向鋼製品	6,541	—	—	9,916	—	—	—
	3,195	4,569	626	44,633	46,703	△ 2,070	4
普通鋼壓延鋼材	296,855	241,862	54,993	2,641,599	2,244,878	396,721	18
	543	—	—	4,458	—	—	—
歴 延 鋼 材 内 譯							
厚7mm以下の鋼板	29,357	22,676	6,681	264,707	218,478	46,229	21
	543	—	—	543	—	—	—
其の他鋼板	59,468	53,178	6,290	523,119	462,631	60,488	13
	7,547	5,689	1,858	68,512	42,186	26,326	62
棒 形 鋼	72,943	55,742	17,201	693,468	541,338	152,130	28
	—	—	—	1,919	—	—	—
軌 條 鋼	39,157	36,278	2,879	353,335	318,578	34,757	11
	34,840	31,130	3,710	271,517	271,749	△ 232	—
線 鋼	—	—	—	1,996	—	—	—
	34,973	23,844	11,129	299,766	262,745	37,021	14
鋼材管	14,007	10,792	3,215	130,413	96,711	33,702	34
	4,563	2,533	2,030	36,762	30,462	6,300	21

備考 △印は生産減を示す。

昭和10年外國鉄輸入高表 (單位噸)

(鉄鐵共同販賣會社)

月次	輸 出 國 名						其 他	計
	印 度	英 國	獨 逸	米 國	瑞 典	露 國		
1	25,340	102	—	204	5	—	17,876	43,534
2	24,737	203	—	—	—	—	14,835	39,075
3	26,934	203	102	15	605	—	14,148	42,007
4	13,946	102	125	—	—	—	19,721	33,921
5	19,879	91	—	211	—	—	44,730	64,911
6	19,724	51	—	—	—	45,938	6,303	72,016
7	26,312	208	—	205	—	37,887	8,484	73,096
8	30,267	274	—	—	—	26,313	4	56,858
9	41,749	—	—	—	—	—	—	41,749
計	228,195	1,234	254	635	610	110,138	126,101	467,167

昭和10年9月中重要生産月報抜萃 (商工大臣官房統計課)

品名	生産額	9月中	前月中	前年同月	1月以降累計	
					昭和10年	昭和9年
金	(gr)	1,487,815	1,483,352	1,328,334	13,012,231	10,884,371
銀	(g)	20,080,726	21,154,187	18,921,522	184,130,525	158,526,969
銅	(kg)	5,138,471	5,326,457	5,697,516	50,925,815	50,543,808
鉛	(t)	637,642	610,096	579,302	5,339,326	5,082,026
錫	(t)	2,689,932	2,394,101	2,382,306	22,674,808	21,879,465
鉍	(t)	178,218	167,717	130,213	1,516,690	787,659
硫	(t)	12,989	13,036	11,009	111,103	92,504
黄鐵	(t)	103,923	106,338	84,868	934,558	782,885
鐵	(t)	506,012	501,804	410,648	3,996,095	3,770,585
硫	(t)	86,181	77,063	73,071	684,400	581,758
石	(t)	2,759,927	2,599,089	2,489,193	25,394,449	24,489,164
油(原油)	(100l)	229,400	241,365	201,100	2,219,086	1,691,305